

“1億円”重た〜い

東濃信用金庫の小学生を対象にした「金融教室」が、多治見市弁天町の愛児幼稚園で開かれ、小学生がお金の大切さを学んだ。

多治見市で「金融教室」

開催。今年は精華小学校の1年〜5年の20人が幼稚園内の集会場に集まった。

「千円札が半分破れたら交換してもらえるか」「1万円札の1億円の重さは」などのクイズのほか、模擬紙幣を使い、札の数え方、

児童、お金の大切さ学ぶ

買い物体験とおこづかい帳の付け方などを学び、10キにもなる1億円の重みも体験した。

児童(10)は「紙幣は3分の2以上残っていないと全額交換してくれないことが分かった」などと話していた。

参加した4年生女子

(高木俊徳)



模擬紙幣の1億円の重さを体験する児童たち
〓多治見市弁天町、愛児幼稚園